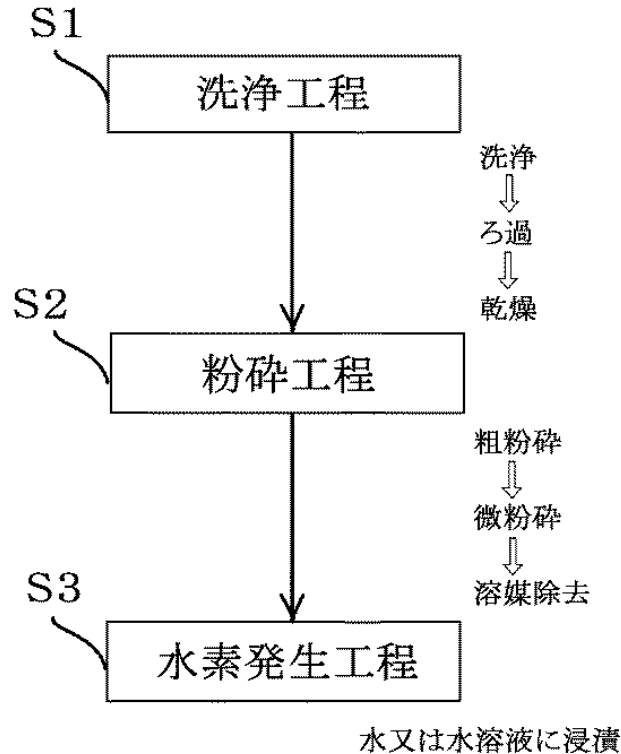


発明の名称	水素製造装置、水素製造方法、水素製造用シリコン微細粒子、及び水素製造用シリコン微細粒子の製造方法		
出願人/権利人	小林光、株式会社KIT、日新化成株式会社	発明者	小林 光、肥後 徹、金谷 弥生
出願日	平成26年8月26日	出願番号	2015-535431
公開番号	WO2015/033815	特許番号	6462572
法的状態	登録中		

## 代表図



## 発明の概要

水素製造装置及び水素製造用シリコン微細粒子の製造方法

## 特徴

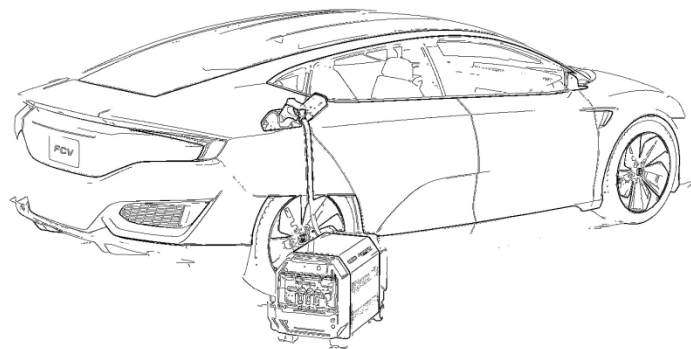
従来のケイ素の微粉末と水を接触させ水素を製造する技術では、実用化できる十分な水素の発生量は得られていない。

本発明の水素製造装置によれば、通常は廃棄物として取り扱われるシリコンの切粉や研磨屑を出発材料として、実用化できる十分な量の水素を確実に製造できる。このように廃棄物といえるシリコン屑の有効活用とともに環境保護に大きく貢献する。また、燃料電池という次世代のエネルギー資源として活用される水素の製造コストを大幅に削減できる。従って、水素の製造における工業生産性を格段に向上させられる。

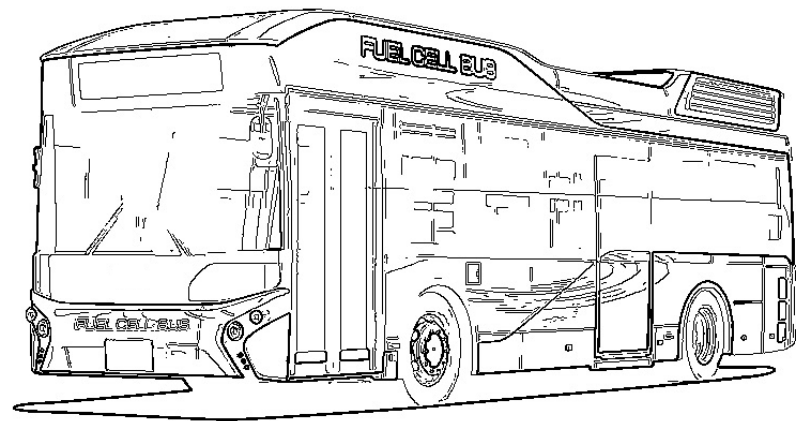
関連分野

化学、業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、運輸サービス

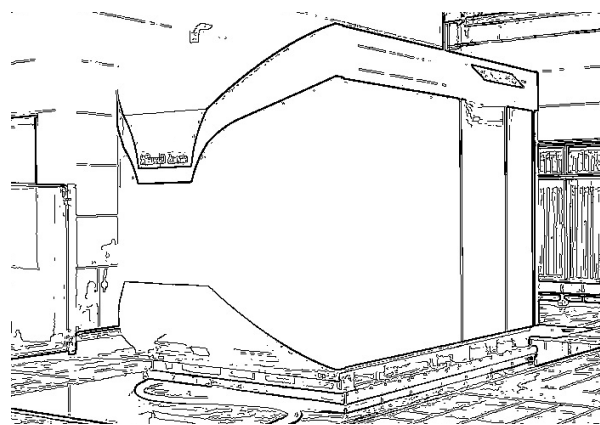
# 応用の可能性



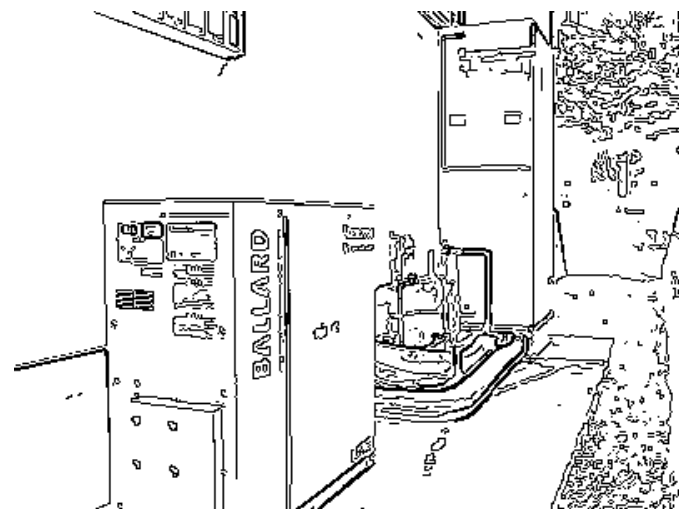
燃料電池自動車



燃料電池輸送車



ビル・工場用燃料電池



家庭用燃料電池

など

## 応用の可能性

- ・燃料電池自動車
- ・燃料電池輸送車
- など
- ・家庭用燃料電池
- ・ビル・工場用燃料電池

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- ・トヨタ自動車株式会社
- ・本田技研工業株式会社
- ・日野自動車株式会社
- ・東芝燃料電池システム株式会社
- ・岩谷産業株式会社
- ・三菱重工業株式会社
- ・日立造船株式会社
- ・ヤマト・H2Energy Japan株式会社
- ・大阪ガス株式会社
- ・パナソニック株式会社
- など

## 株式会社KITおよび日新化成株式会社の本発明に関する最新動向

- ・株式会社KITのホームページは見受けられない。同社に関する情報がJSTの過去のホームページ内 (<https://www.jst.go.jp/tt/uventure/info/info1609/gaiyo.html>) に掲載されているが、本件特許に関連する動向情報は見受けられない。本件特許の出願人である小林光氏は同社の取締役のようである。
- ・日新化成株式会社のホームページ (<http://www.nisshinkasei.co.jp/index.html>) には、本件特許に関連する動向情報は見受けられない。